

町民に見える町政とは

町長

リアルタイムに情報発信



小嶋 崇嗣 議員

町政運営の基本姿勢において『町民に分かりやすい、町民に見える町政へ』の取り組みとは。

町政に関する情報は『広報誌』『無線放送』『ホームページ』等により様々な広報活動

展開している。

特に生活に密着した施策や制度の周知については暮らしの便利帳、転入者ガイドブック並びに毎年年度当初・補正予算ごとに、予算の概要、事業実施計画書などを作成、情報提供を行っている。

今後は『広報誌』は町民と共に考える機会を提供できる特集記事や主要事業の進捗を知



町民のサービス向上のために更に充実が望まれる町の情報誌

らせる事業取り組み報告などリアルタイムな情報発信に努めます。

町政は申請主義といった面があるので様々な制度や助成について、知っている人だけが活用できるのではなく、広く活用できる様に工夫をするべきである。

町内全戸に暮らしの便利帳をより充実させ

た冊子を配布したらどうか。

わかりやすいと言っていることをもう一度考えていきたい。町が色々な施策を行っているの制度を活用してもらうための周知方法を検討します。

介護保険制度の改正は

町長

地域包括ケアシステムの実現へ



倉 永 豪 修 議員

昨年実施された津波避難訓練はどのようなように総括されたのか。

津波避難訓練では、様々な課題がありまして、今後自然災害に対する危機感を持つこと、

自分の命、家族の命を守り町民の意識の高揚を図ることの必要性を感じ防災士の養成を今年度予算に計上しました。現在、新富町避難所運営マニュアルを作成しています。

被災地のがれき処理を、本町はどのように認識しているのか。



これからの介護事業は、地域密着型居宅介護サービスを充実

新富町は、西都児湯地区広域で廃棄物処理を行っており、町内に廃棄物処理施設がないので受け入れの立場としてどちらでもないと考えて頂きます。

本町の防災教育の考え方を伺います。

災害の危険性を十分認識させ、自分の命は自分で守り抜き、自分の判断で避難する場があること等を指導し、防災教育の充実に努めております。

国の重点施策として①医療との連携強化②介護サービスの充実強化③予防の推進④生活支援サービスの確保⑤バリアフリーの高齢者住宅の整備・地域包括ケアシステムの実現に向けた推進を強化することになります。

24時間対応型の新たなサービスは、利用者にとっては安心で安全な利用ができますが、事業運営には厳しいものがあるのではないかと思います。

元職員の訴訟は全国初めて

町長

町は請求棄却を求める



丹 邦敏 議員

問 元職員の死去に対し公務災害認定書が出ているが、各課長は内容を確認しているのか。

答 内容等については確認していません。

問 この種の訴訟は全国でも初めてと言われている。ここまで発展した理由を伺う。

答 全国で初めてなのかは確認していません。請求の棄却を求め町の主張を述べていきます。

問 公務災害認定書の内容確認と対策改善は。

答 内容は確認しているが詳細は一切公表していない。職務の労働時間については対策を講じてきています。

問 人事権の絶対性と使用者の管理責任について伺う。

答 執行部の責任は町



自殺者は年間3万人、うつは病気の周りのみんなでも支え合ひましょう。

長になる。今後裁判で管理責任について判断されることになり、訴訟問題に係ることは答弁出来ません。

問 コンタミ85以上の住民に対しエアコンの電気料やテレビ受信料の一部補助を行っているが、平等の原則に欠けている。これを是正する為の発電事業の計画はないか。

答 騒音は町内全域に及んでおり、エアコン

稼動に必要な電気料は不可欠なもので国の責任であり、国に強く要望します。

問 自然再生エネルギー事業の早期計画を要望する。町内全域に補助サービスが出来ることを計画して頂きたい。特色・特徴ある施策で人口対策になると思うがこれについて伺う。

答 国とも相談を行っており、強く要請を行います。

有線ラジオ放送整備は大事業

町長

工事着手前に町民説明会



下村 豊 議員

問 事業所系一般廃棄物の収集運搬は、事業者と許可業者との民契約であるが、廃棄物の所有権が町へ移転する時点は。

答 事業者が廃棄物処

分を目的として許可業者に渡した時としています。

問 生活系一般廃棄物の収集運搬委託業者の募集及び選定方法は。

答 設備、安定した継続的な業務の実施、業務内容の熟知や過去の実績等を考慮し、現在随意契約で行っています。



役場庁舎屋上に設置されている防災関連情報通信設備

問 有線ラジオ放送施設整備は大事業である。町民説明会をやるのか、総事業費と維持費は。

答 工事に着手する前に町民説明会を行います。

問 総事業費は約21億円、維持費は毎年約2千9百万円と6年毎に約1億5千万円を見込んでいます。

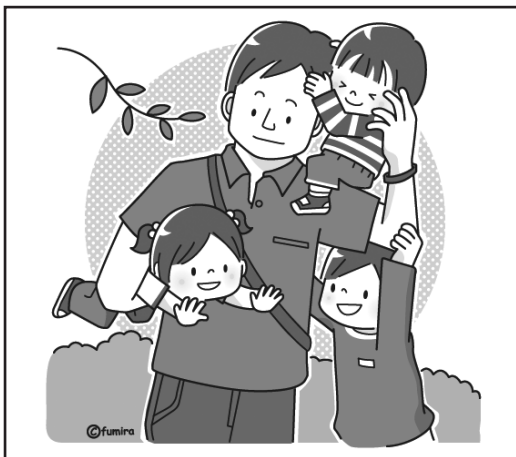
問 民間事業者（採算地域）と町（不採算地域）で高速インターネットを整備する場合の事業費は。

答 事業費が約9億円、町が負担する費用は約3億8千万円であります。

問 航空機騒音目視調査事業の目的と内容は。

答 離陸、着陸、タッチアンドゴー、上空通過等を確認記録し、防衛省への要望活動等に使用します。

問 24年度の予算は1216万円、雇用賃金は月額65000円で6名、年間240日の雇用であります。



人口が増える名案は？町職員は新富町に住んで欲しい。

役場職員4人に1人町外居住

町長

出来るだけ町内居住を願う



図師孝一 議員

問 新富町の人口は、平成33年には今より4千名減少する予想にどう思うか。

答 企業誘致等いろいろ検討中です。

問 新富町の人口減少に対する短中長期的な対策についてお伺いし

ます。

短期的には、役場職員の4人に1人は町外に住んでいるが、どう思うか。

答 どこに住むのかは職員の自由だが、出来るだけ町内定住をお願いしたい。

問 37名の町外定住職員が町内に住めば年間数百万円の税収アップとなるがどう思うか。

答 町内に定住してもらう様努力する。

問 新規町内定住者にガソリン200Lとか、アパート代一ヶ月分サービスとか新富町からアイデアを発信したらどうか。

答 色々検討したい。

問 自衛官の町内定住を図っては。

答 努力検討します。

問 人口流出を食い止める為の政策を推進すべきと思うが。

答 住みやすい、安全な町作りを目指し、町民が安心して住める町にしたい。

Aコープは存続厳しい状況

町長

農協としっかり話し合う



櫻井盛生 議員

問 今後の新富町の財政は文化会館等の維持費や医療費等の増加に加え再編交付金の期限消滅や人口減少による税収の落ち込みが予想

され、ますます財政悪化が懸念される。税収を増やすには、企業誘致や住宅開発が欠かせない。インパクトのある住宅政策はできないか。

答 人口増には、総合的政策が必要と思っている。私は、現在住んでいる人を大切に考



継続が希望される新田地区のAコープ

え、各種事業に取り組んでいる。低所得層の住宅の確保と一般を対象とした町営住宅の提供を引き続き行うこととしていきます。

問 上新田や新田地区のAコープは赤字続きで存続が厳しい状況にあるが、町が少し後押しすることにより改善が考えられる。地域プレミアム商品券の提供、県道沿いの宅地化の推進、その他環境の改善にとり組めないか。

答 新田地区は佐土原木城線の整備に取り組

んでいる。全般的な面では排水対策が最も必要なことと考えているので現在取り組み始めているところです。

今後農協ともしっかりと話し合いをもちたいと思っていますが、町が取り組めることは、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

給与所得者 19年比千人減少

町長

町独自で人口増は困難



三浦千尋 議員

町 人口減少と町内消費額の現況は。
 答 課税状況調べの営業区分から、近時毎年減少中で、平成23年は20年対比1億4000万円減、町民税も同様に6800万円の減収です。

町 本町の人口減少は他町に比べ給与所得者が平成19年対比約千人減と異常な状態。消費額や税収減への影響は甚大で、1億4000万強の減少は町づくりの死活問題である。人口増の具体策と商店街活性化策は。
 答 町独自の人口増は困難。子育て、子供の教育環境が対策。商店街活性化は商工会と連携して取り組みたい。



まちおこしに期待がかかる虹ヶ丘ルピーモール商店街

計画中の複合施設は文化会館駐車場ではなく、街中に建設し、賑わいづくりの一環とすべきと提案しました。

町 観光資源の活用は。答 観光資源はお客様が決めるものです。

町 観光資源の整備計画は。答 座論梅の梅園と広場、百足塚周辺、新田原基地を誘客の核としてスカイパーク構想を策定中です。

町 新たな誘客施策は。答 アンケート調査を基に検討します。

町 新田・上新田の多目的広場の具現化は。答 新田はありません。上新田は観光資源の整備に同調させます。

地域力の創出は地域の多くの人が集い、利用できる公共の場所が必須条件。その提供は行政責任であることを強く求めました。

工場跡地にメガソーラーを

町長

スカイパーク構想で研究中



永友繁喜 議員

町 国はTPP参加に向けての協議が進んでいます。本町にはどのような分野で、どのような影響があるのか伺います。

町 本町においてどの分野で、どのような影響を受けるのかとのご質問ですが、今のところ、どの分野にどれくらい影響があるのかは推測できません。他国からの安い農産物が大量に輸入されれば、価格競争で劣る日本本の農産物は不利になる。

町 東日本大震災により原子力発電所も被災し、原子力の安全神話がくずれ再生エネルギーの重要性が高くなっているが、三納代の工場移転跡地にメガソーラーの行政発電所を作る考えはないか。

町 スカイパーク構想を含め調査研究中です。



有効な活用が望まれる三納代の工場移転跡地

町 新富町における生活保護の現況及び課題について伺います。

町 リーマンショック以降、日本経済が落ち込む中、特に稼働労働力のある生活保護受給者が急増するとともに、生活保護から脱却出来ない状況が続いています。貧困の連鎖が問題となっており、ハローワークと連携しながら就労・自立できるよう支援を行っています。

第2回議会報告会開催

町内外から115名出席

第二回議会報告会の概要を報告致します。

○期日

2月15日（水）

○場所

町中央公民館

○参加者

115名

○質疑

8名の方々から17件の発言があり、議会への質問13問、執行部への質問5問で早速申し入れました。

議会に対する質問は、

・パブリックコメント

に対する議会対応は

・飛行コースと運用は

・津波に対する避難道

の見直しについて

・騒音対策について

・防衛予算確保の件

・商店街の消費動向調査について

・訴訟問題について

・執行部申し入れ案件

・各種事業計画の審査
・評価過程公開の件

・区外居住者への情報

・周知対策について

・アンケート集計から

（回収93名）

・性別

男	76名
女	14名
無回答	3名

・年齢

20代	8名
30代	7名
40代	11名
50代	26名
60代	30名
70代	7名
無回答	4名

・居住別

町内	53名
日置・三納代	20名
上・下富田	14名
新田	6名
上新田	7名
町外	38名
無回答	2名

・何で知りましたか。

議会だより	14名
無線放送	12名
議員の案内	49名
ホームページ	4名
その他	23名

・報告内容評価は

良い	48名
普通	42名
悪い	0名
無回答	3名

・報告所要時間は

ちょうど良い	68名
長すぎる	13名
短すぎる	5名
無回答	7名

・次回報告会参加は

参加したい	43名
時間があれば	46名
参加したくない	0名
無回答	4名

報告会総評

参加者 熱心な質疑一時間超える 町政への関心表れ

第一回目の議会システムの説明や質疑を行った結果を占め、一定の評価を得ることができたと判断できます。また質疑の時間を当初40分50分を設定していましたが、一時間を超える大変熱心な質疑応答となり、参加者のほとんどの方が最後迄在席されていたことに報告会を通して町政への関心の表れだと受け止めております。

委員会（3）、特別委員会（3）の審査の状況、或いは政務調査の成果を町政に反映すべき等々意見や提案を執行部に行ってきた経緯をパワーポイントを用いて報告を致しました。アンケート調査の回答から、次回報告会に対し「参加したい」に

「時間があれば参加し、取り分け今回の参加したい」に



第2回議会報告会の議長挨拶

加者のアンケートや意見を通して、報告会のあり方・内容について再検討し、第三回目の実施に向かって先進地視察や議会内での研修研究継続の必要性を改めて認識しているところでございます。

今後は、議会活性化及び開かれた議会を通して、議員一人一人の資質向上を目指し、住民サービスの向上に寄与することが私達議員の果たすべき責務であります。

この役割を全うする為の手段の一つとして議会基本条例の制定に向かって議員が丸となり邁進しなければならぬことを自覚致したところでです。

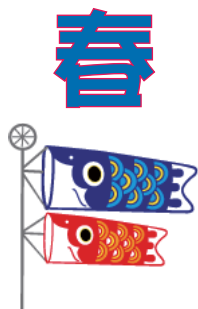
町民の皆様の議会傍聴や御意見を心よりお願い申し上げます。報告と致します。

（委員長 三浦千尋）

カ・メ・ラ・探・訪



▲閉校式に引き続き上級生の協力を得て最後の学習発表会
(在校生前列)



▲全員で記念写真におさまる
新田小学校 平成23年度
卒業生の皆さん



▲在園児や保護者等の見守る中で
行われた新田保育所卒園式



▲菜の花の花言葉は
「快活、活発」。
春だ元気に活動し
よう!



▲見学者でにぎわう黒木さん宅の芝桜

■発行責任者／新富町議会議長 長濱 博

追分分校が幕を閉じ改めて
少子化問題を身近に感じる。
今後はどうなるのだろう。

追分 S.Nさん

菜の花とさくらが咲いてい
よいよ春も本番、田植えも始
まった。次は五月の子どもの
節句、そう言えば最近鯉のぼ
りを見なくなったなあ。これも
少子化や不景気のせいかな。

富田 M.Sさん

農家、非農家にかかわらず
志を持った、若者の夢が叶う、
実現できる地域環境をつくる
ことが、今の私たちの使命で
はないか。

新田 K.Oさん

町民の声
議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

委員会一部構成替え

総務常任委員会委員長

文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会

丹 邦敏

城 吉信

櫻井 盛生

議会運営委員会

櫻井 盛生

基地対策特別委員会委員長

三浦 千尋

※ 議会広報特別委員会の
新構成は編集後記のとお
りです。

編集後記

「田園の里新田学園」が小
中一貫校としてスタートし、
追分分校が廃校となり富田小
学校に統合されました。光
ファイバー網整備が予算計上
され、いよいよインターネット
ト時代がやってきます。更に
は、図書館を含む複合施設の
建設も計画に上がり、時代の
流れを感じるこの頃です。
新富町の動きをしつかり情
報紙で伝えていきたいと思っ
ます。

賢治

議会広報編集特別委員会

委員長(新任) 下村 豊
副委員長(新任) 阿萬 誠郎
委員 永友 繁喜
(新入) 倉永 豪修
高野 賢治
増永 逸男

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139

■印刷／あゆみの里